雪消え近く

小川未明

青空文庫

早く雪が消えて、かわいた土の上で遊びたくなりました。雪の下にかくれている土の色がなつかしいのであります。吉郎は、自分の家の前だけでも早く雪をなくそうと思いました。それで朝から外に出て木鋤で、雪をわってはそれを力いっぱい遠く畠の方へとなげていました。

日がほかほかと当たってきました。しじゅうからが、林へ来て鳴いています。空は、うす青く晴れて、なんとなく気持ちの伸び伸びとするいいお天気でした。

「吉郎さん、雪をわっているの。」と、隣のとめ子さんが赤いえり巻きの中へ半分顔を埋ずめながら、そばへきていいました。

「はやく、雪がなくなるといいね。そうすれば、いろんなことをして遊べるだろう。」と、吉郎は、手を休めて、答えました。額ぎわには、働いたので、あせがにじんでいました。

「おまりをついたり、鬼ごっこをしたりして遊べるわね。」

「だから、早く、僕、雪を消そうと思っているのさ。」

「私も、おてつだいをしましょうか。」

「とめ子さんは、自分の家の前の雪を消せばいいだろう。」

「じゃ、そうするわ。」

とめ子さんは、お家へ帰っていきました。するとまもなく、とめ子さんは、兄の年雄さんと二人で、支度をしてきました。年雄さんは堅い雪をわるのに、鉄のシャベルを持ち、とめ子さんは、小さな木鋤を持っていました。

「やはり、吉郎さんのお家のほうからやっていきましょうよ。吉郎さんのお家のほうがすんだら、私の家のほうをして、飛んで遊べるようにしましょうよ。」と、とめ子さんが、いいました。

「吉郎くん、それがいいだろう。」と、年雄さんが、いいました。

「ああ、そうしよう。三人でやれば、今日じゅうに、ここだけはできるからね。」

三人は、雪をわって、それをなげるのに夢中でありました。はやく春がきて、土の上で遊べる楽しみを考えるからです。

昼過ぎになると、空がすこし曇りました。そして、風が寒くなって、さらさらと雪が落ちてきました。

「あっ、また降ってきたよ。」と、年雄が空を見上げました。

「せっかく、雪をなくしたのに、つまらないわ。」

「年ちゃん、じきに晴れるよ。あっちの方が明るいだろう。」

吉郎は、南から、西へかけて、雲切れのしている空を指しました。

「だって、北の方は、黒いじゃないか。」

そこへ近所のおじさんが、ふところ手をして通りかかりました。

「おじさん、また降るだろうか。」と、吉郎がききました。

「もう降ってもたいしたことはない。南が明るいから南風が出そうだ。そうすれば、どんどん消えてしまうからな。」と、おじさんは、いいました。三人は、顔を見合って、にっこり笑いました。おじさんの去った後です。

「さあ、みんなよく働いてくれましたね。おいしいおしるこができたから、入ってお食べなさい。」と、吉郎くんのお母さんが、戸口へ出てきて三人をお呼びになりました。

「うれしいな、早くいって食べよう。」

三人は、シャベルも、木鋤も、雪の上へほうり出してお家へ入りました。三人は、おしるこもうまかったが、それよりか大きなみか

んが、なによりうれしかったのです。

「大きなみかんね。」

「こんな大きいみかんのなっているところへいってみたいな。」

「私、ご本で、みかんのなっているお山を見たわ。」

「絵なんか、つまらないよ。」

とめ子さんは、みかんを自分のほおに押しあてて、なかなか食べようとしませんでした。

そのうち、日の光がぱっと窓へ射しました。へやの中が急に明るくなりました。三人は、すぐに外へ飛び出していきました。

かげろうが、軒下で、輪を造って、おどっていました。すぎの木の枝に当たる風が急になまあたたかく感ぜられたのです。そして南の空から、西の空へかけて山々の頂のあたりが、いっそううす明るくオレンジ色になっていました。

「おじさんのいったように、晩に南風が出るんだぜ。」と、年雄さんが、いいました。

「そうすれば、春がくるのだ。」

このとき、盲目の母親の手を引きながら、十五、六の娘が、雪道を歩いていきました。母親は三味線を抱えていました。旅芸人です。

「暗くなったらどこへ泊まるんでしょう。」と、とめ子さんが、いいました。

「どこへ泊まるんだろうな。」と、吉郎くんも、見送っていました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　12」講談社
　　1977（昭和52）年10月10日第1刷発行
　　1982（昭和57）年9月10日第5刷発行
底本の親本：「小学四年生」
　　1939（昭和14）年3月号
初出：「小学四年生」
　　1939（昭和14）年3月号
※表題は底本では、「雪消《ゆきぎ》え近《ちか》く」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：酒井裕二
2017年1月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

雪消え近く

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/